

令和7年度 学校経営方針

<本校の教育方針>

各種学力調査や学校評価アンケート等の結果および生徒の実態から、本校の生徒の根っこの課題を「主体性と想像力」と考えた。ことをもとに、令和7年度の基本課題を『**「なりたい自分」を思い描き、「工夫」と「挑戦」を続ける生徒の育成**』とした。この基本課題の解決に向けて、共に学びあう活動の充実を図るとともに、全員担任制や起業体験学習といった学校改革の歩みを継続していく。

<校訓> 自立創造 友愛誠実 克己不屈

<学校教育目標> 「自ら求めて学ぶ」生徒の育成

<めざす生徒像>

- 自ら考え、判断し、表現する生徒
- 自分に厳しく、人にやさしい生徒
- 困難に対しても果敢に挑戦する生徒

<めざす教職員像>

- 学校の基本課題を理解し、その解決のために努力する教職員
- 豊かな人間性をもち、心のふれあいを大切にする教職員
- 指導力の向上をめざして、研修に励む教職員
- 心身ともに健康で、生き生きと職務に励む教職員

<めざす学校像>

- 明るく、活気のある学校
- 安心して学べる、秩序のある学校
- 環境が整備された、美しく安全な学校
- 保護者や地域に信頼される地域とともにある学校

<教育目標を達成するための特色ある教育活動>

- ①みんなが過ごしやすい学校をつくる (G1-2、4)
 - ・生徒会活動や学級活動の活性化を図る
 - ・「あいさつをする」「時間を守る」「学ぶ場を整える」「授業の約束」
- ②恒常的な確かな学力向上への取り組み (G1-1)
 - ・「生徒を学びの主体者にする」という視点から授業改善に取り組む
 - ・「学びの習慣化メソッド」の利活用
 - ・「長中スタンダード」を意識した授業の実践
 - ・単元末テストとパフォーマンス課題の計画的な実施
 - ・一人一台の学習者用端末を有効活用した学習の充実
 - ・単元内自由進度学習の実施
- ③校内研修の充実による指導力向上 (G1-1)
 - ・全国学力学習状況調査をはじめとする学力検査の結果をもとに本校全体で検証を行い、取り組むべき課題を明確にし、学校全体で研修を行い、指導力向上を図る
 - ・指導と評価のあり方の研究を通じて、生徒の資質・能力の向上を図る授業を追究する
- ④学習のつまずきへの対応 (G1-1)
 - ・デジタルドリルの有効活用を通して、基礎的・基本的な知識や技能の確実な習得に努める
- ⑤平和・人権教育の推進 (G1-2)
 - ・他者の意見を尊重しながら自分の言葉で平和を語り、行動できる生徒の育成に努める
 - ・教育活動全体を通して人権や生命尊重の精神を培い、いじめの起こらない学校づくりを行う
 - ・特別の教科 道徳は、「考え、議論する道徳」を通して道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育む
- ⑥特別支援教育及び生徒指導の充実 (G1-2)
 - ・個別の指導計画のもと、特別支援教育コーディネーターを中心に全教職員で生徒の支援にあたる
 - ・教育相談コーディネーターを中心に関係機関との連携を深め、家庭の困り感に寄り添った取組を行う
 - ・生徒指導アンケートや「アセス」の結果から生徒の困り感を教職員で共有し、支援や指導にあたる
- ⑦基本的な生活習慣を身に付けさせる指導の充実 (G1-3)
 - ・保護者の協力のもと、「夜11時前の就寝」「テレビ視聴・ゲーム・携帯電話の使用は1日1時間以内」「朝食を食べる」を推進し、健全な心と身体を育成する
- ⑧体力向上の推進 (G1-2)
 - ・新体力テストの結果をもとに、保健体育や部活動等で体力の向上をめざす
- ⑨地域とのつながりを意識した経営の強化 (G1-3、4)
 - ・育成会、学校評議員会などの関係団体との連携強化を図るとともに、積極的に外部人材を活用して「長崎に愛着をもつ生徒」の育成をめざす
 - ・地域の力を借りて通学路を点検し安全な環境の醸成に努める
- ⑩ふるさとキャリア教育の充実 (G1-3)
 - ・起業体験学習などの機会を活用して働くことや地域の良さについて実際に知り、上級学校で学ぶこととの関連付けを深め、夢やあこがれを育む